

# せいか 議会だより

2021年5月1日発行

3月会議 No.172

## 精華町交流ホール・コンサート



町長のビジョンを問う ..... 3~7ページ

ここが聞きたい今とこれから ..... 8~13ページ

議会の意見がどう反映されたか ..... 21 ページ

リモートでまなび・生かす ..... 23 ページ





## 精華未来



## 学研都市建設の目標は

A 目標は、「自立のまちづくり」



(企画調整課より)



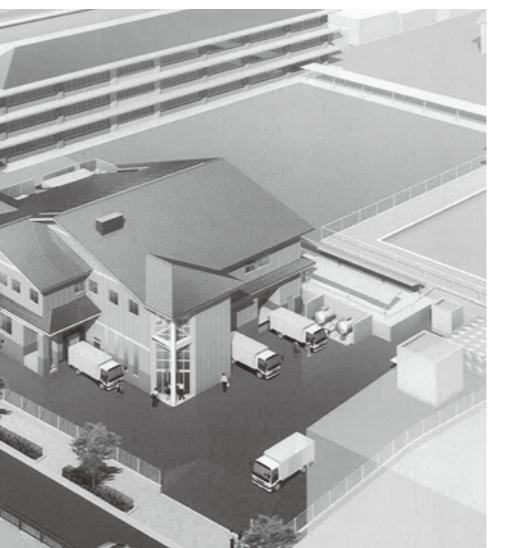
岡本 篤議員

**Q 産業集積と人口定着の展望は**  
**A** 「自立のまちづくり」を目標として、学研泊田地区の整備と活性化、さらなる企業誘致の推進、雇用促進につなげるための産業集積と人口定着についての展望は。

**Q 京阪奈新線延伸による効果や、今後の進め方は。**  
**A** 利便性向上、京都と大阪・夢洲を直結する一大観光路線として、人

間の円滑な接種に向け、必要な体制整備と副反応も含めて、町民への心にしてワクチン接種を受けられるよう、町ホームページなど、ワクチンに関する情報を的確な情報提供の基本的な考え方。

**Q コロナの今後の対応は**  
**A** 新型コロナワクチンの円滑な接種に向け、必要な体制整備と副反応も含めて、町民への心にしてワクチン接種を受けられるよう、町ホームページなど、ワクチンに関する情報を的確な情報提供の基本的な考え方。



防災食育センター 鳥瞰図

(学校教育課より)

**Q 持続可能な農業振興は環境に負荷のない持続可能な農業で、自然環境を後世にどうに引き継いでいくのか。**  
**A** 地域農業ビジョンとなる府の「京力農場プラン」を活用し、担

**Q 防災食育センターの機能は**  
**A** 平常時は、中学校給食センターと、施設の見学、食育に関する基本的な考えは。

い手の確保や農地利用の集約化など、地域と一体となって取り組む。講演会や、行事等の開催を通して、地域住民の交流などができる機能を備える。有事の際は、災害発生時の食料供給拠点として、炊き出しを行う機能を確保し、物資の備蓄庫、自家発電設備や耐震性の受水槽などを整備する。令和5年度の2学期から運用を開始したい。

## ▶代表質問

## 町長の

## ビジョンを問う

※ 会派代表質問は、新年度を前にして、今後1年間のまちづくりに対する町長の施政方針や主要な施策などを問うものです。

ページ	質問事項	質問議員
3	学研都市建設の目標は	精華未来 岡本 篤
4	PCR検査の抜本的拡充を	日本共産党 坪井 久行
5	学研都市を中心とした今後の都市計画は	爽風会 山下 芳一
6	精華町の未来のために目指す自立都市とは	せい風会 青木 敏
7	一日も早くワクチン接種を受けられる体制の構築を	公明党 今方 晴美

※掲載は質問者順で、内容は本人から提出された要約です。なお「会議録」や「議会中継録画」は、議会ホームページで閲覧できます。

ここが聞きたい 一般質問  
今とこれから

質問席

ページ	質問事項	質問議員
8	町職員の多忙業務縮減に検討会議設置は	森元 茂
8	「こども110番の家」は	塩井 幹雄
9	太陽光発電施設設置の「条例の制定」を	内海富久子
9	妊婦や小児のワクチン接種は	山本 清悟
10	町立駐輪場、まずは原動機付自転車と自動二輪車の有料化を	宮崎 瞳子
10	オレオレ詐欺防止を	佐々木雅彦
11	泊田駅周辺の整備構想は	奥野 弘佳
11	パイロットモデル都市としての精華町を進めていく必要があるが	森田 喜久
12	「舞鶴引揚記念館」で平和学習を	柚木 弘子
12	放課後児童クラブの保育料、減免を	松田 孝枝
13	精華町に関する学習は	村田 周子
13	泊田のまちづくりに町長のリーダーシップ發揮を	安宅 吉昭

※一般質問は、議員の調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育委員会などの施策を問うものです。

# 学研都市を中心とした 今後の都市計画は

## A 次期総合計画の基礎調査などを通じて明らかにしていく



京都府

△ 緊急情報

閲覧支援

情報を探す

ツイート

いいね！ 0

## 「関西文化学術研究都市（京都府域）の建設に関する計画」の概要

学研都市精華・西木津地区  
(京都府 HP より)

学研都市精華・西木津地区

**A** 備基本計画の作成を行い、具体的な施設の位置や規模、整備スケジュールについて検討する。

**福祉の効果的な仕組み**

高齢者・障がい者  
児童等の福祉サービス  
を総合的に提供できる  
効果的な仕組みを。

- ICT活用を支援する人材確保に努める。
- 給食費の補助を増やし、保育所副食費を無料化する考えは。
- A 厳しい財政状況が予測され、現状通り。
- Q 特別支援教育や配慮を要する児童生徒のための人的措置は。
- A 適切な指導や支援が行えるように取り組んでいる。



学研都市精華・西木津地区

(京都府 HP より)

# 日本共産党

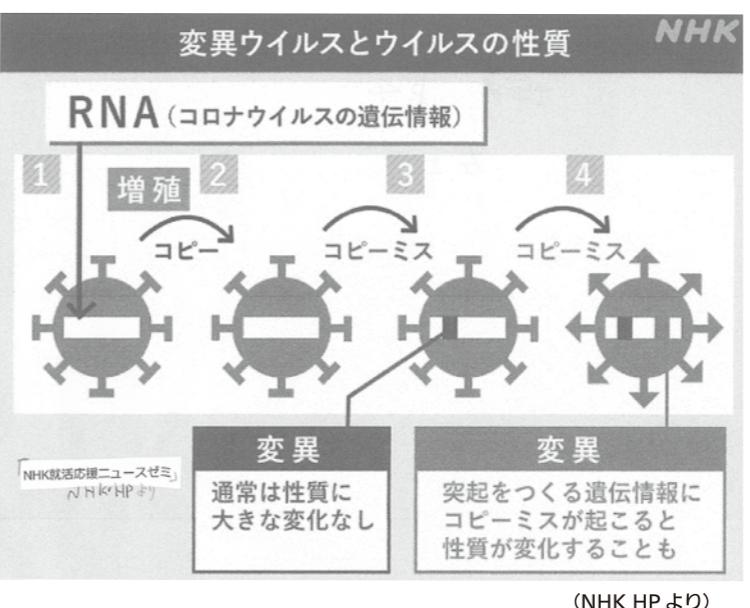
# PCR 検査の抜本的拡充を

## A 町内施設の発生状況の把握に努める



①PCR検査を抜本的に拡充し、特に、高齢者施設と医療機関を感染から守るために無症状者を含めて感染者を把握し、保護するよう、府や国に強く求めること②ひつじと崩壊の危機にある医療機関への減収補てん、保健所への支援の抜本的強化を図ること③自肃

**A** 要請と一緒に十分な補償を行い、雇用と営業を守る大規模な支援を行うこと。また、自粛要請は強権的罰則運用は避けるべき④ワクチン接種については、安全性に関する情報提供や副反応等への機敏な態勢を構築すること。



**①**暮し応援のため、消費税5%引き下げを国に求める。上下水道料金の基本料金免除。企業誘致だけなく、地域循環型経済を②75歳以上の医療費窓口負担の2倍化中止を国に求めること。介護保険は、独自支援サービスの確保と保険料の引き下げ。国保税や

後期高齢者医療保険料は住民負担の軽減に努めること。18歳までの医療費無料化、保育所の保護者負担軽減を。

A ①消費税は地方財政の貴重な財源であり、国に引き下げは求めない。上下水道料金は、適切な時期に適切な料金へと見直す。地域循環型経済の発展は極めて重要②後期高齢者の

医療費窓口負担は、国の対応を見守る。介護保険料は高齢者を取り巻く環境を考慮して、据え置く。国保、後期高齢者医療制度は低所得者が中心であり、住民の負担減を国に要望する。保育所の副食費は、保護者負担が原則。18歳までの医療費無料化は現時点で考えない。

上下水道料金の早見表(新税率対応)						単位：円		
使用量 (㎥)	水道料金			下水道使用料		合計料金(税込)		
	13mm単価	13mm料金 (税込)	20mm単価	20mm料金 (税込)	使用料単価	使用料 (税込)	水道(13mm の場合)	水道(20mm の場合)
0	基本料金 715 (円／10 ㎥)	786	基本料金 829 (円／10 ㎥)	911	350円(基本料金)  90 (円／㎥)	385	1,171	1,296
1						484	1,270	1,395
2						583	1,369	1,494
3						682	1,468	1,593
4						781	1,567	1,692
5						880	1,666	1,791
6						979	1,765	1,890
7						1,078	1,864	1,989
8						1,177	1,963	2,088
9						1,276	2,062	2,187
10						1,375	2,161	2,286
11	120 (円／㎥)	918	1,043	150 (円／㎥)	1,540	2,458	2,583	
12					1,705	2,755	2,880	
13					1,870	3,052	3,177	
14					2,035	3,349	3,474	
15					2,200	3,646	3,771	
16					2,365	3,943	4,068	
17					2,530	4,240	4,365	
18					2,695	4,537	4,662	
19					2,860	4,834	4,959	
20					3,025	5,131	5,256	
21					3,201	5,430	5,564	
22					3,263	5,430	5,564	

（七）七道課（D-1/G）



▶一般質問

## Q 太陽光発電施設設置の「条例の制定」を

A 現時点では条例制定の考えはない。  
今後は調査研究を進める



身近な地域環境への配慮を



内海富久子 議員

Q 近年では、設置事業者と地域住民とのトラブルが国内各地で発生し拡大している。条例や要綱などで許可制度や届出制により規制や誘導を図る施策や、適正な立地と地域と調和を目標とした条例を制定する自治体も増えている。環境保全の観点から、本町の考えは。

A 事前抑止の観点で、条例規則による効果等を先進地事例も参考に調査研究を進める。

Q 学童保育利用料の減額、減免制度の実施を

A 待できる取り組みは。

Q 常設することと期間を合わせて、高齢者、生活困窮者、障害者などに対しても、身近な場所で、町のきめ細やかな相談支援と、ハローワークのマッチング機能で、一体的なワンストップ支援を目指す。

A 適切な料金体系に減額すべきである。

Q 7月開設(仮称)、7月開設(仮称)、7月開設(仮称)

A 向け、前向きに研究を進める。

Q 7月開設(仮称)、7月開設(仮称)、7月開設(仮称)

A 7月開設(仮称)、7月開設(仮称)、7月開設(仮称)

